Bコース ＜上野地区＞

# 石造物をたずねるコース

－ みどころ －

上野地区では、道祖神や甲子など様々な石造物が見られる。昔の人々が祈りをこめてつくった石造物を巡りながら、水田が美しい集落を歩く。

みどころポイント　石造物　季節の花

距離：約5km　所要時間：約2時間

マークの凡例：観察ポイント ●　説明板 ▲　トイレ　駐車場 P　寺院 卍　神社 ⛩
季節の花　石造物　富士山眺望ポイント　ルート

Bコース ＜上野地区＞

# ー コースのみどころ ー

### ①中堰改修記念碑

上野地区は丘陵地帯であり水が得にくい土地だったが、中堰や大堰など多くの用水が開かれ、芝川の水を利用して米作りの盛んな地域となった。
中堰改修記念碑の向かいには、甲子、文字道祖神、石灯籠がある。石灯籠には「右上井出　左つりはし」と記されており、道標になっている。

### ②甲子

「甲子」の文字とともに「明治27年造立」「神田組」の銘がある。これは、年6～7回ある甲子の日の夜に、夜遅くまで宴会をして祀る「甲子待ち」の碑である。甲子の日のなかでも旧暦11月の甲子の日が主な祭日とされ、黒豆や二股大根が供えられた。

### ③双体道祖神

天明元年(1781)に造立された双体道祖神がある。道祖神は、道の神・交通の神や外から来る災いを防ぐ神として、集落の入口などに置かれた。また、双体道祖神は夫婦和合・家内繁栄をもたらすものとしても信仰された。
また、他にも昭和12年(1937)造立の文字道祖神と、宝暦2年(1752)造立の地の神の石祠がある。

### ④精進川浅間神社

神社の前に幟を立てるための幟杭が3本並んでおり、祭礼の際などに「熊野大神宮」・「浅間大神宮」・「八幡大神宮」の幟が立てられる。これらはかつて村内にあった神社の名前であり、ここに合祀されたものである。
また、かつて境内には、明治8年(1875)創立の精進川村の小学校「精進舎」があった。

### ⑤川掛の山の神

石祠(石で作られた祠)が5つ並んでいる。神や仏を祀る石祠は江戸時代に盛んに作られたようである。ここには山の神や稲荷などが祀られている。

### ⑥題目塔

題目塔とは「南無妙法蓮華経」の題目が刻まれた石碑である。この題目塔は元禄4年(1691)に造立されたもので、「造主窪地村題目講中」と記されており、窪地村の題目講が建てたものである。また、ここには天明7年(1787)造立の双体道祖神がある。

### ⑦馬頭観音・青面金剛

馬頭観音の像は寛政5年(1793)造立、文字碑は弘化2年(1845)造立である。馬頭観音は、頭上に馬の頭を載せた姿で表されることが多い。江戸時代になると、大切な労働力である馬の無病息災・供養として馬頭観音の石碑が多く建てられるようになった。
青面金剛像は寛政9年(1797)の造立であり、庚申信仰の石造物である。庚申信仰とは、人の体に住む虫が庚申の日の夜に体から抜け出してその人の悪行を天帝に報告するというものである。虫の報告により寿命が決まるとされ、江戸時代には虫が抜け出さないように庚申の日の晩に夜通し宴会を開いて楽しむことが行われていた。
他に、享保11年(1726)造立の題目塔、文化3年(1806)造立の双体道祖神がある。

### ⑧上条のサクラ

県指定天然記念物のヤマザクラの大樹で、ウラジロガシ、イヌツゲなどが宿木状に着生している。花の見ごろは例年4月中ごろである。

問い合わせ先:富士宮市教育委員会〔電話 0544-22-1111(代)〕